CASBEE®神戸ver.3　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3　　使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

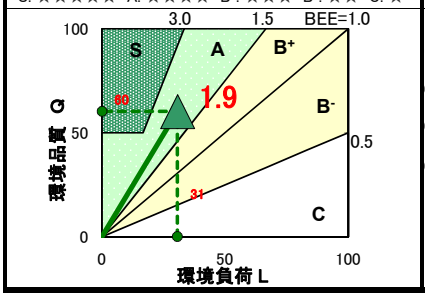
建物名称	ビオフェルミン製薬株式会社新工場	階数	地上5F
建設地	神戸市西区井吹台東町7丁目6番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,500 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月　予定	評価の実施日	2021年2月1日
敷地面積	13,094 ㎡	作成者	吉野博史
建築面積	6,041 ㎡	確認日	2021年2月2日
延床面積	16,946 ㎡	確認者	

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

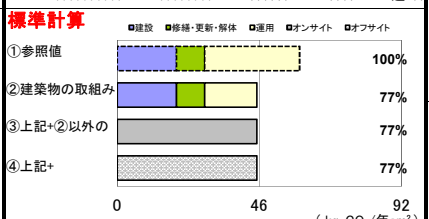
BEE =1.9

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



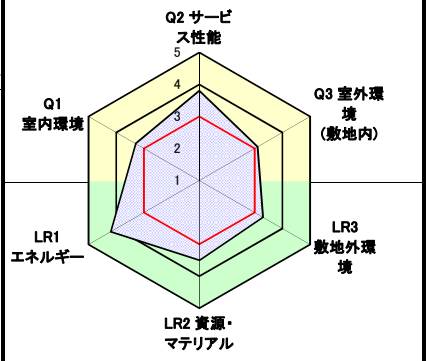
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

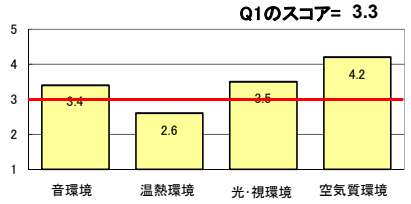
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



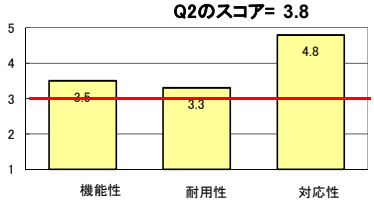
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.4

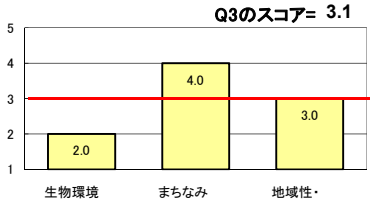
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.8

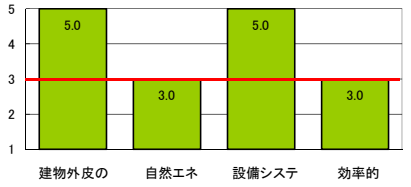


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.1

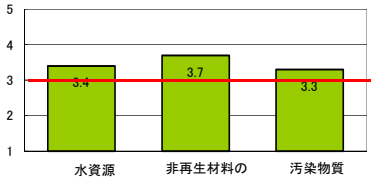


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.7

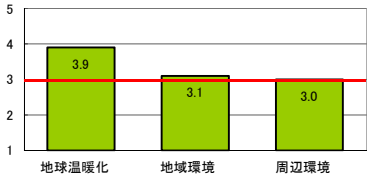
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.3



3 CASBEE神戸 の重要項目

バリアフリー計画

Q-2/1.1.3 バリアフリー計画　3.0

配慮の概要
身障者用トイレ、オストメイト設置

建築物の耐震性等

Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振　3.8

Q-2/2.4 信頼性　2.8

配慮の概要
建築基準法1.25倍

まちなみ・景観への配慮

Q-3/2. まちなみ・景観への配慮　4.0

配慮の概要
前面道路からのセットバック、設備の見えない整形な外観

その他の配慮事項

0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE神戸ver.3
ビオフェルミン製薬株式会社新工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3
■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

スコアシート　実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.30		-	3.3
1 音環境		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	T2等級	5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-	
1 昼光率	添付図	5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度	照度500-1000ルックス	4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		4.2	0.25	-	-	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	内装材　全て☆☆☆☆	5.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO_2の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	敷地内禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		–	0.30	-	-	3.8
1 機能性		3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
3 内装計画	添付	4.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	内部仕上表に追記	5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	内部仕上表に追記	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	保有水平耐力1.25倍	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備	周辺より高い地盤に特高設備を配置し、浸水リスク減。	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		4.8	0.30	-	-	4.8
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高6m	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	平面図　追記	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり	添付	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性		4.6	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性	ISS空間より更新	5.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性	ISS空間より更新	5.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性	ISS空間より更新	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	ISS空間より更新	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性	ISS空間より更新	5.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3　室外環境（敷地内）		–	0.40	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	添付	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR　建築物の環境負荷低減性			-		-	3.7
LR1 エネルギー		–	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		5.0	0.00	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] =　0.55	5.0	0.62	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		–	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート、内装ボード、シートシャッター、	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	構造、建築、設備の分離	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）		4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		–	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	設備システムの効率化	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	サイエンスパーク地区全体における調整池あり	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	入場トラックの引き込みスペース確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.50	-	-	
2 振動		3.0	0.50	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		-	-	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-		
3 日照阻害の抑制		3.0	1.00	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	